

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：生活造形学科

資格：教授

氏名：森 幹雄

研究分野	研究内容のキーワード
建築計画、建築設計、建築デザイン、劇場計画、図書館計画	木造劇場、多目的ホール、劇場、コンサートホール、可変機構、可変ホール、公共ホール、農村舞台、能舞台、公共図書館
学位	最終学歴
博士（工学（建築学専攻））	大阪市立大学大学院 工学研究科 建築学専攻 博士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 設計科目におけるプレゼンテーション	2013年～現在	設計科目において、設計意図の表現にあたり、常日頃から、何を重視しているのか、その理由、使う人の立場に立った考え等を、自らの言葉で表現すること、及びそれらを図面上表現することを求めている。
2. 実際の設計例に基づいた建築計画	2012年～現在	図書館計画及び劇場計画等において、学問上の計画にとどまらず、実際の設計例に基づいた資料を活用して授業を進めている。
3. 設計科目における現地調査の重視	2010年～現在	地域に根差した建築を設計するために、設計する建築の内容の理解だけでなく、立地位置の歴史、風土、自然環境等を調査し、理解した上で、その地に望まれる建築の提案を行うように指導した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 篠山市図書館建設基本計画	2000年	篠山市図書館建設基本計画において、現地でワークショップを開いた。
2. 赤穂市新図書館整備基本計画	1999年	赤穂市新図書館整備基本計画において、現地でワークショップを開いた。
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 博士(工学)	2007年03月	
2. 一級建築士	1976年2月	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 長久手町文化の家公開建築設計プロポーザル	1995年	愛知県長久手町(長久手市)の複合文化施設建築設計プロポーザルに於いて佳作入選
2. 駒ヶ根市文化公園施設群公開設計競技	1984年2月	長野県・駒ヶ根市に於ける、文化会館・図書館・博物館・働く婦人の家・勤労青少年ホーム等の複合施設の全国公開設計競技で1等に選出された。
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 公共多目的ホールにおける可変機構に関する研究	単	2006年12月	大阪市立大学大学院工学研究科	1. 近畿圏におけるホールの地域的・規模的・時間的特徴を示した。2. 公共多目的可変ホールの構想主目的と実際の催しの関係及び可変機構(可変プロセニウム・音響反射板・残響可変装置・客席舞台可変装置)との関係を整理した。3. 公共多目的可変ホールの可変機構の利用状況及び問題点を明らかにし、課題を示した。
3 学術論文				
1. 平土間仮設劇場の利用形態報告	単	2010年02月	日本建築学会技術報告集 第16巻 第32号 249-254	劇場は舞台と客席が分離したプロセニウムステージと、同一の空間にあるオープンステージがある。今までデータのなかったオープンステージであるの平土間仮設劇場の利用実態報告である。オープンステ

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
2. 洛中洛外図屏風にみる芝居小屋の研究	共	2009年3月	武庫川女子大学紀要（自然科学）56巻65-71	エージの利用が公共ホールではほとんどないのに対し、今回の報告では包囲・対向・扇形・道行形式の利用は、役者の出入りが自由で、周りに余裕のある仮設劇場では有効に利用されている。客席の入退場も自由に設定でき、仮設劇場の特性が生かされている。 古田宣子、森幹雄 洛中洛外図に描かれた芝居小屋を年代・場所・舞台方位位置・屋根形式・橋掛かり・地謡座等を表に纏めるとともに、配置・平面図に起し、芝居小屋の配置・平面的な特徴を考察した。舞台方位は北が4割強、位置は通りに対して奥が8割を占め、方位よりも通りとの関係が強い事がわかる。
3. 公共多目的ホールにおける可変機構の有効性に関する研究	共	2006年12月	日本建築学会計画系論文集	森幹雄、杉山茂一、横山俊祐 公共多目的ホールにおける可変機構（可変プロセニウム・音響反射板・残響可変装置・客席舞台可変装置）の実態調査により、その有効性を研究した。結果は以下である。①構想主目的の設定は重要 ②音楽関係が構想主目的の時、可変プロセニウム+音響反射板は有効に機能するが、残響可変装置は利用されないことがあり、音響可変機構は柔軟な運用が必要 ③客席舞台可変装置は、ホールの特性を考慮し、構想主目的に応じた選択が求められる。
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 日本における多目的ホールの役割に関する研究（その2）	単	2004年08月	日本建築学会 2004年度大会（北海道）学術講演梗概集E-1建築計画I	公共多目的ホールの地域的・規模的・時間的特長を近畿地方を例に明らかにした上で、可変機構を持つ公共多目的ホールの催し物の傾向を分析し、その役割、可能性を明らかにする。
2. 日本における多目的ホールの役割に関する研究	単	2003年09月	日本建築学会 2003年度大会（東海）学術講演梗概集 E-1. 建築計画I	多目的ホールが建設され続けてきた地域的・規模的・時間手時特徴を以下に示した。1. 人口当りの座席数は地方都市の方が充実している。2. 地方都市には公共多目的ホールが浸透している。3. 民間ホールは用途、目的がはっきりしている。4. ホールの多くは複合施設である。5. 1960年代以降公共ホールが根強く建設され続けた。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 駒ヶ根の森の家		2010年06月	長野県駒ヶ根市赤穂	敷地：長野県駒ヶ根市赤穂（光前寺西） アルプスのふたつ見える町駒ヶ根市の森の中に、木の香あふれる、山荘を設計した。
2. 篠山市図書館建設基本計画（篠山市図書館建設基本計画検討委員会・図書館計画施設研究所）	共	2000年03月	篠山市図書館建設基本計画検討委員会・図書館計画施設研究所	平成11年兵庫県多紀郡4町（篠山町・西紀町・丹南町・今田町）が合併して篠山市となった。その篠山市の誕生に伴い新図書館の建設基本計画が作成された。
3. 高石駅東B地区市街地再開発事業（大・小ホール、図書館の設計とコンサルタント・アールアイエー）		2000年03月		大阪府高石市の南海電鉄高石駅前再開発ビルの中の大・小ホール及び図書館の設計コンサルタントを行った。大ホールは舞台と客席がフラットな平面に変化し、宴会にも利用が可能である。
4. 赤穂市新図書館整備基本計画（赤穂市・図書館計画施設研究所）	共	1999年09月	赤穂市・図書館計画施設研究所	兵庫県赤穂市の図書館は昭和47年に建てられたが、30年近いサービスの変化に応じて、施設の使い方も変わり十分に対応しきれない限界が見えていた。ついては現状を分析し、赤穂市新図書館整備基本計画を作成した。
5. 津山市立図書館（内装設計及びコンサルタント・都市設計連合・図書館計画施設研究所）		1999年03月	津山市・都市設計連合・図書館計画施設研究所	岡山県津山市の市街地再開発ビル（ショッピングセンター）の4階部分に入る新図書館の内装設計である。音楽の街津山市にふさわしい、音楽の資料が充実した図書館を設計した。書架の配列の中に閲覧スペースが融合するように工夫している。窓からは津山城を望む。
6. 豊津町立図書館基本計画（豊津町・図書館計画施設研究所）	共	1998年03月	豊津町・図書館計画施設研究所	福岡県豊津町の図書館基本計画
7. 市街地再開発事業に導入する図書館基本計画調査報告書（加西市新図書館基本計画・図書館計画施設研究所）	共	1997年12月	加西市新図書館基本計画・図書館計画施設研究所	兵庫県加西市の再開発に伴う新図書館の基本計画調査報告書
8. 石狩市図書館基本計画（石狩市教育委員会・図書館計画施設研究所）	共	1997年03月	石狩市教育委員会・図書館計画施設研究所	北海道石狩市における図書館基本計画を行った。石狩市庁舎の前に、開架スペースと学習創造活動スペースを1階に分けて展開している。
9. 宇佐市立図書館建設基本計画（宇佐市・図書館計画施設研究所）	共	1996年	宇佐市・図書館計画施設研究所	大分県の宇佐市立図書館建設基本計画-21世紀の図書館サービスもめざして-基本計画書を作成しその中で

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
10. 福井県図書館公文書館基本計画（福井県・図書館計画施設研究所）	共	1996年	福井県・図書館計画施設研究所	1フロアに広がる部門別の開架スペースの平面図・立面図・断面図を提案した。 福井県の図書館・公文書館基本計画
11. 長久手町文化の家公開設計プロポーザル		1995年		愛知県・長久手町文化の公開設計プロポーザル 佳作入選 文化施設設計経験者に限定した公開設計プロポーザルである。
12. 河内長野市立図書館基本計画（河内長野市・図書館計画施設研究所）	共	1995年	河内長野市・図書館計画施設研究所	大阪府河内長野市の図書館基本計画
13. 津久見市図書館基本計画（津久見市・図書館計画施設研究所）	共	1994年	津久見市・図書館計画施設研究所	大分県津久見市の図書館基本計画
14. 阪南市立西鳥取公民館（MANプランニングオフィス）		1993年		大阪府阪南市の西鳥取公民館の設計及び監理を行った。ロビーの役割を強調した地域に開かれた公民館を目指した。文部科学省優良公民館表彰受賞
15. 門真市民文化会館（石本建築事務所）		1993年	近代建築1993.9月号	大阪府門真市の文化会館の基本計画の作成及び建築コンサルタントを行った。
16. 宇多津町図書館基本計画（宇多津町・図書館計画施設研究所）	共	1993年	宇多津町・図書館計画施設研究所	香川県宇多津町の図書館基本計画
17. 羽曳野市図書館整備基本計画（羽曳野市・図書館計画施設研究所）	共	1992年	羽曳野市・図書館計画施設研究所	大阪府羽曳野市の図書館整備基本計画
18. 新潟市マンホール蓋デザインコンペ		1992年		新潟市マンホール蓋デザインコンペで優秀賞に選ばれた。
19. 猪名川町文化創造センター基本計画（猪名川町・図書館計画施設研究所）	共	1991年	猪名川町・図書館計画施設研究所	兵庫県猪名川町の文化創造センター（図書館）の基本計画
20. 阪南市立文化センター（石本建築事務所）		1989年		大阪府阪南市尾崎町35-3 阪南市文化センター RC造地下1階地上4階 大ホール751(音楽を主目的とした多目的可変ホール)・小ホール移動200席・図書館 指名設計競技入選
21. 京都府民ホール（京都府土木建築部宮繕課・石本建築事務所）		1989年	新建築1989.3月号 DA建築図集・劇場ホールII	京都府の府民ホール「アルティ」及び京都府公館である。客席床下収納の音楽主目的とした多目的可変ホールである。コンピュータ制御による床下収納式の客席可変装置により、様々な舞台空間の作成が可能である。建築士会作品賞・照明普及賞受賞
22. 松前総合文化センター（石本建築事務所）		1988年		愛媛県伊予郡松前町の総合文化センター 照明普及賞受賞 指名設計競技入選 建築面積3120.6㎡ 延床面積5525.96㎡
23. ニッサン童話と絵本のグランプリ		1985年		ニッサン童話と絵本のグランプリ(第2回)の絵本の部で「こっち向いて」が入選した。
24. 駒ヶ根総合文化センター		1985年	新建築(1989.9月号) 建築雑誌・作品選集1989	長野県・駒ヶ根市に建つ。文化会館・図書館・博物館・働く婦人の家・勤労青少年ホーム等の複合施設である。全国公開設計競技1等作品。中央アルプスと南アルプスの雄大な山脈に囲まれた伊那谷にある。中庭が出会いの場となり、屋外の共通ロビーとして複合施設を結びつける。日本図書館協会建築賞受賞・公開設計競技1等入選
25. 駒ヶ根市文化公園施設群公開設計競技		1984年		長野県駒ヶ根市における複合施設（文化会館・働く婦人の家・勤労青少年ホール・図書館・博物館）である。全国公開設計競技に於いて1位に入選した。
26. 滋賀県立水口文化センター（石本建築事務所）		1983年		滋賀県甲賀市（旧甲賀郡水口町）の文化センターである。水口神社に隣接した文化ゾーンを中心施設で文化ゾーンの要であり、施設計画の先頭となり、後に造られる図書館や碧水ホールの計画の要となった。指名設計競技入選 麗しの滋賀建築賞受賞
27. 滋賀県美しいまちづくりコンクール		1982年		滋賀県美しいまちづくりコンクールに於いて、滋賀県立水口文化芸術会館の緞帳デザインコンペがあり、特選2位に選ばれた。
28. 備前市市民センター（石本建築事務所）		1981年9月	建築文化	岡山県備前市の文化センター及び公民館・備前市の耐火煉瓦・備前焼等備前市の産物を生かした文化センターである。指名設計競技入選作品
29. 北海道大野町中央公民館（石本建築事務所）		1980年		北海道大野町中央公民館の設計を行った。
30. 札幌市教育文化会館（石本建築事務所）		1980年	建築設計チェックリスト・集会催し施設/彰国社	北海道札幌市の教育文化会館大ホール部分 北海道建築学会賞受賞
31. 札幌市青少年科学館（石本建築事務所）		1980年		札幌市厚別区に札幌市青少年科学館の設計を行った。
32. 北海道・東藻琴村役場庁舎（石本建築事務所）		1979年		北海道・東藻琴村役場庁舎の設計及び監理を行った。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1. 舞台位置での大きな照度差	単	2013年11月21日	平成の能を国宝北能舞台で 世阿弥生誕六百五十年	平成25年11月21日西本願寺北能舞台で16年ぶりに演能があった。それを記念して、冊子が作成された。能舞台は元々外部空間の中に自然光の下で存在し、能楽も自然光の中で演じられてきた。西本願寺には北能舞台(国宝)と南能舞台(重文)がある。この能舞台の自然光の下での光環境を調査した。時間変化を朝10時から日没まで調査し、直射光・反射光、周辺環境等に照度が変化する様子を確認した。
2. 劇場演出空間技術協会での報告		2010年2月2日	劇場演出空間技術協会	劇場演出空間技術協会において、建築部会での活動の内、関西木造劇場研究会の活動報告の文章及びスライド資料を作成した。
3. 再生建築の躍動	単	2005年01月	建築ジャーナル2005/01 42-43	再生建築の躍動・本当に良い建築とは何か 洲本市立図書館はいち早く市民参加型の手法を取り入れた図書館である。明快で美しいプランニングの室内及び、外壁はカネボウ洲本工場の組積造煉瓦壁を活用した。
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年3月25日から2018年3月24日	大阪市交通局建築技術研究会委員(座長)
2. 2014年8月28日から2015年9月30日	川西市低炭素型施設整備に伴うPFI事業者選定委員会委員
3. 2001年～2017年3月31日	日本建築学会
4. 1993年	大阪市教育委員会文化振興懇話会委員
5. 1991年	門真市建設アドバイザー
6. 1990年～2017年3月31日	劇場演出空間技術協会
7. 1985年～2014年	日本建築家協会